

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	サービス接遇Ⅰ			
実務家教員授業				
学部・学科	トータルビューティー学科			
履修年次	1年次			
開講学期	後期			
科目区分	必修			
授業方法	講義 演習			
授業時間	60単位時間			
授業コマ数	30コマ			
授業概要	接客の基本を理解し、サービス接遇検定2級レベルの知識の定着を図る			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	サービス接遇検定2級に合格できるレベルの知識を身に着ける			
教科書	就職に効く！サービス接遇検定3・2級テキスト&問題集			
特記				
授業計画	1	サービス接遇検定の概要説明、サービススタッフの資質①	16	一般知識①
	2	サービススタッフの資質②	17	一般知識②
	3	サービススタッフの資質③ 練習問題・解答解説	18	一般知識③ 練習問題・解答解説
	4	対人技能①	19	模擬問題①
	5	対人技能②	20	模擬問題②
	6	対人技能③	21	模擬問題③
	7	対人技能④ 練習問題・解答解説	22	模擬問題④
	8	実務技能①	23	模擬問題⑤
	9	実務技能②	24	模擬問題⑥
	10	実務技能③	25	模擬問題⑦
	11	実務技能④	26	模擬問題⑧
	12	実務技能⑤ 練習問題・解答解説	27	模擬問題⑨
	13	専門知識①	28	模擬テスト①
	14	専門知識②	29	模擬テスト②
	15	専門知識③ 練習問題・解答解説	30	模擬テスト③
成績評価方法 (試験実施方法)	28コマ目～30コマ目でテストを実施。			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																														
授業科目	一般教養 I																														
実務家教員授業																															
学部・学科	トータルビューティー学科																														
履修年次	1 年次																														
開講学期	前期																														
科目区分	必修																														
授業方法	演習																														
授業時間	30 単位時間																														
授業コマ数	15 コマ																														
授業概要	一般教養として、社会で求められる漢字の知識を身につける																														
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する																														
達成目標	日本ビジネス技能検定協会漢字検定 3 級に合格する																														
教科書	問題集・プリント																														
特記																															
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>訓読み・送り仮名 1</td></tr> <tr><td>2</td><td>訓読み・送り仮名 2</td></tr> <tr><td>3</td><td>熟語 1</td></tr> <tr><td>4</td><td>熟語 2</td></tr> <tr><td>5</td><td>熟語 3</td></tr> <tr><td>6</td><td>異字同訓・同音異義</td></tr> <tr><td>7</td><td>誤字訂正 1</td></tr> <tr><td>8</td><td>誤字訂正 2</td></tr> <tr><td>9</td><td>項目別模擬試験 1</td></tr> <tr><td>10</td><td>項目別模擬試験 2</td></tr> <tr><td>11</td><td>直前模擬試験 1</td></tr> <tr><td>12</td><td>直前模擬試験 2</td></tr> <tr><td>13</td><td>直前模擬試験 3</td></tr> <tr><td>14</td><td>直前模擬試験 4</td></tr> <tr><td>15</td><td>直前模擬試験 5</td></tr> </table>	1	訓読み・送り仮名 1	2	訓読み・送り仮名 2	3	熟語 1	4	熟語 2	5	熟語 3	6	異字同訓・同音異義	7	誤字訂正 1	8	誤字訂正 2	9	項目別模擬試験 1	10	項目別模擬試験 2	11	直前模擬試験 1	12	直前模擬試験 2	13	直前模擬試験 3	14	直前模擬試験 4	15	直前模擬試験 5
1	訓読み・送り仮名 1																														
2	訓読み・送り仮名 2																														
3	熟語 1																														
4	熟語 2																														
5	熟語 3																														
6	異字同訓・同音異義																														
7	誤字訂正 1																														
8	誤字訂正 2																														
9	項目別模擬試験 1																														
10	項目別模擬試験 2																														
11	直前模擬試験 1																														
12	直前模擬試験 2																														
13	直前模擬試験 3																														
14	直前模擬試験 4																														
15	直前模擬試験 5																														
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価																														
備考																															

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	一般教養Ⅱ
実務家教員授業	
学部・学科	トータルビューティー学科
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	30 単位時間
授業コマ数	15 コマ
授業概要	一般教養として、社会で求められる漢字の知識を身につける
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	日本ビジネス技能検定協会漢字検定 2 級に合格できる知識を習得する
教科書	問題集・プリント
特記	
授業計画	1 訓読み・送り仮名 1 2 訓読み・送り仮名 2 3 熟語 1 4 熟語 2 5 熟語 3 6 熟語 4 7 異字同訓 8 同音異義 9 誤字訂正 1 10 誤字訂正 2 11 類義語 12 反対語 1 13 反対語 2 14 漢字の意味・使い方 1 15 漢字の意味・使い方 2
成績評価方法 (試験実施方法)	各セッションでの確認テストにおける得点にて評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	キャリアデザインⅠ
実務家教員授業	
学部・学科	トータルビューティ学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30単位時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	面接試験で求められるビジネスマナーの基礎を学ぶ
授業の進め方	座学を基に実技練習を行い、効果測定を行う
達成目標	面接時の入退室及び自己PRが出来るようになる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 面接の基本 2 入退室の仕方、身嗜みチェック 3 初級面接効果測定 4 自己分析① 5 自己分析② 6 自己分析③ 7 面接質問項目① 8 面接質問項目② 9 面接質問項目③ 10 志望動機① 11 志望動機② 12 志望動機③ 13 面接カードの作成 14 中級面接効果測定 15 模擬面接試験の検証
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	サービス接遇Ⅱ
実務家教員授業	
学部・学科	トータルビューティ学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	30単位時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	
授業の進め方	相モデルで面接練習を行い、スキルの向上を図る
達成目標	サービス接遇検定準1級に合格できるレベルのスキルを身に着ける
教科書	サービス接遇検定準1級 受験ガイド
特記	
授業計画	- サービス接遇検定準1級概要説明 - 発声練習、あいさつ練習 - あいさつ、基本言動 - 接客応答① - 接客応答② - 接客対応① - 接客対応② - あいさつ、基本言動、接客応答 ロールプレイング① - あいさつ、基本言動、接客応答 ロールプレイング② - 接客応答、接客対応 ロールプレイング① - 接客応答、接客対応 ロールプレイング② - サービス接遇検定準1級 通し練習① - サービス接遇検定準1級 通し練習② - 模擬テスト - 振り返り・最終通し練習
成績評価方法 (試験実施方法)	14コマ目に本番を想定したテストを実施。
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	一般教養Ⅲ
実務家教員授業	
学部・学科	トータルビューティー学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	30単位時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	一般教養として、社会で求められる漢字の知識を身につける
授業の進め方	問題演習により知識の定着を図る
達成目標	日本ビジネス技能検定協会漢字検定2級に合格する
教科書	項目別答練・直前答練
特記	
授業計画	1 項目別答練① 2 項目別答練② 3 項目別答練③ 4 項目別答練④ 5 項目別答練⑤ 6 直前答練① 7 直前答練② 8 直前答練③ 9 直前答練④ 10 直前答練⑤ 11 模擬試験① 12 模擬試験② 13 模擬試験③ 14 模擬試験④ 15 模擬試験⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	キャリアデザインⅡ	
実務家教員授業		
学部・学科	トータルビューティー学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	30単位時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	面接試験に向けての準備作業や集団・個人での実践練習を行う	
授業の進め方	前半は座学中心になるが、後半は本番形式の模擬面接を実施する	
達成目標	自然な会話の中で好印象を与え、自分らしさを表現できる	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	エントリーシート・面接カード作成①
	2	エントリーシート・面接カード作成②
	3	エントリーシート・面接カード作成③
	4	エントリーシート・面接カード作成④
	5	エントリーシート・面接カード作成⑤
	6	職種研究①
	7	職種研究②
	8	職種研究③
	9	職種研究④
	10	面接効果測定準備
	11	上級面接効果測定
	12	模擬面接準備
	13	模擬面接①
	14	模擬面接②
	15	模擬面接③
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																																
授業科目	WORD基礎																																
実務家教員授業																																	
学部・学科	トータルビューティ学科																																
履修年次	1年次																																
開講学期	後期																																
科目区分	必修																																
授業方法	演習																																
授業時間	30単位時間																																
授業コマ数	15コマ																																
授業概要	あらゆる企業で使用されている文書作成ソフトの基本を身につける																																
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る																																
達成目標	WORDに関する基礎知識を身につけ、ビジネス文書が作成できるようになる																																
教科書	30時間でマスター Word 2016																																
特記																																	
授業計画	<table border="1"> <tr> <td>1</td><td>1章 Windows 10の基礎</td></tr> <tr> <td>2</td><td>2章 Word入門 起動、終了、文字入力</td></tr> <tr> <td>3</td><td>2章 実習問題</td></tr> <tr> <td>4</td><td>3章 文書の作成 入力、保存と読み込み、印刷、削除</td></tr> <tr> <td>5</td><td>3章 実習問題</td></tr> <tr> <td>6</td><td>4章 Wordの活用 編集機能、表の編集、画像・テキストボックスの挿入</td></tr> <tr> <td>7</td><td>4章 実習問題</td></tr> <tr> <td>8</td><td>5章 Wordの活用2 画像の利用・ワードアート・図形描写・スマートアート</td></tr> <tr> <td>9</td><td>5章 実習問題</td></tr> <tr> <td>10</td><td>6章 Wordの応用 はがき作成・差し込み印刷・グラフの挿入</td></tr> <tr> <td>11</td><td>6章 実習問題</td></tr> <tr> <td>12</td><td>7章 Wordによるプレゼンテーション レポート作成・ページ区切り</td></tr> <tr> <td>13</td><td>問題演習①</td></tr> <tr> <td>14</td><td>問題演習②</td></tr> <tr> <td>15</td><td>問題演習③</td></tr> <tr> <td>16</td><td>総合問題テスト</td></tr> </table>	1	1章 Windows 10の基礎	2	2章 Word入門 起動、終了、文字入力	3	2章 実習問題	4	3章 文書の作成 入力、保存と読み込み、印刷、削除	5	3章 実習問題	6	4章 Wordの活用 編集機能、表の編集、画像・テキストボックスの挿入	7	4章 実習問題	8	5章 Wordの活用2 画像の利用・ワードアート・図形描写・スマートアート	9	5章 実習問題	10	6章 Wordの応用 はがき作成・差し込み印刷・グラフの挿入	11	6章 実習問題	12	7章 Wordによるプレゼンテーション レポート作成・ページ区切り	13	問題演習①	14	問題演習②	15	問題演習③	16	総合問題テスト
1	1章 Windows 10の基礎																																
2	2章 Word入門 起動、終了、文字入力																																
3	2章 実習問題																																
4	3章 文書の作成 入力、保存と読み込み、印刷、削除																																
5	3章 実習問題																																
6	4章 Wordの活用 編集機能、表の編集、画像・テキストボックスの挿入																																
7	4章 実習問題																																
8	5章 Wordの活用2 画像の利用・ワードアート・図形描写・スマートアート																																
9	5章 実習問題																																
10	6章 Wordの応用 はがき作成・差し込み印刷・グラフの挿入																																
11	6章 実習問題																																
12	7章 Wordによるプレゼンテーション レポート作成・ページ区切り																																
13	問題演習①																																
14	問題演習②																																
15	問題演習③																																
16	総合問題テスト																																
成績評価方法 (試験実施方法)	15コマ目総合問題テストにて判定。																																
備考																																	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	EXCEL基礎
実務家教員授業	
学部・学科	トータルビューティー学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	30単位時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	あらゆる企業で使用されている表計算ソフトの基本を身につける
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	EXCELに関する基礎知識を身につける
教科書	30時間でマスター Excel 2016
特記	
授業計画	1 1章 EXCELの基礎知識 起動、終了、データ入力 2 2章 EXCEL入門 合計、保存、呼び出し、印刷、グラフ、オートフィル 2章 実習1～4 3 3章 ワークシートの活用（1）行列の削除、挿入、移動、平均 実習5、実習6 4 3章 ワークシートの活用（1）罫線、形式を選択して貼り付け オートカルク、セルのスタイル 実習7～実習10 5 4章 ワークシートの活用（2） 絶対参照、割合、％表示、カンマ表示、フォント、属性 6 4章 ワークシートの活用（2） MAX、MIN、COUNT、COUNTA 実習11～実習14 4章 ワークシートの活用（2） ROUND、ROUNDUP、ROUNDDOWN 実習15～実習17 8 4章 ワークシートの活用（2） IF、条件付き書式、スパークライン 実習18 9 5章 グラフ（1） 実習19～実習24 10 6章 グラフ（2） 11 7章 データベース 並べ替え、抽出、データの集計 実習32、実習33 12 8章 EXCELの応用 順位付け、VLOOKUP、HLOOKUP 13 問題演習① 14 問題演習② 15 総合問題テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	15コマ目総合問題テストにて判定。
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	パソコン実習 I
実務家教員	
学部・学科	トータルビューティー学科
履修年次	2 年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	3 0 単位時間
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	Word、Excelを操作するための基礎的な知識を身につける実習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	基本的な入力操作や書式設定、画像や表の挿入、関数の使用方法を理解する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 文書の作成と管理① 2 文書の作成と管理② 3 文書の作成と管理③ 4 一般的なビジネス文書の作成① 5 一般的なビジネス文書の作成② 6 一般的なビジネス文書の作成③ 7 シンプルなレポートや報告書の作成① 8 シンプルなレポートや報告書の作成② 9 シンプルなレポートや報告書の作成③ 10 表、画像、図形を使った文書の作成(1)① 11 表、画像、図形を使った文書の作成(1)② 12 表、画像、図形を使った文書の作成(1)③ 13 表、画像、図形を使った文書の作成(1)④ 14 表、画像、図形を使った文書の作成(1)⑤ 15 表、画像、図形を使った文書の作成(1)⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	ベーシックメイクアップⅠ			
実務家教員授業	○			
学部・学科	トータルビューティー学科			
履修年次	1 年次			
開講学期	前期			
科目区分	必修			
授業方法	講義 演習 実習			
授業時間	60 単位時間			
授業コマ数	30 コマ			
授業概要	実践的なメイク技術の基礎を学ぶ			
授業の進め方	美容師の指導を基に、相モデルでの実習を行い、技術の向上を図る			
達成目標	イメージに合わせたメイク技術を身につける			
教科書	なし			
特記	美容職経歴を持つ教員による実習			
授業計画	1	時代別メイク①	16	テーマ別メイク④
	2	時代別メイク②	17	テーマ別メイク⑤
	3	時代別メイク③	18	テーマ別メイク⑥
	4	時代別メイク④	19	フォトコンテスト練習①
	5	時代別メイク⑤	20	フォトコンテスト練習②
	6	時代別メイク⑥	21	フォトコンテスト練習③
	7	イメージメイク①	22	フォトコンテスト練習④
	8	イメージメイク②	23	フォトコンテスト練習⑤
	9	イメージメイク③	24	フォトコンテスト練習⑥
	10	イメージメイク④	25	フォトコンテスト実践①
	11	イメージメイク⑤	26	フォトコンテスト実践②
	12	イメージメイク⑥	27	フォトコンテスト実践③
	13	テーマ別メイク①	28	フォトコンテスト実践④
	14	テーマ別メイク②	29	フォトコンテスト実践⑤
	15	テーマ別メイク③	30	フォトコンテスト実践⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	30コマ目：作品の出来栄え、創意工夫などを総合評価する			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	ベーシックメイクアップⅡ			
実務家教員授業	○			
学部・学科	トータルビューティー学科			
履修年次	1 年次			
開講学期	後期			
科目区分	必修			
授業方法	演習 実習			
授業時間	60 単位時間			
授業コマ数	30 コマ			
授業概要	実践的なメイク技術の基礎を学び、作品制作を行う			
授業の進め方	美容師の指導を基に、相モデルでの実習を行い、技術の向上を図る			
達成目標	イメージに合わせたメイク技術をショーで披露できるようになる			
教科書	なし			
特記	美容職経歴を持つ教員による実習			
授業計画	1	舞台メイク①	16	ビューティーショーメイク練習④
	2	舞台メイク②	17	ビューティーショーメイク練習⑤
	3	舞台メイク③	18	ビューティーショーメイク練習⑥
	4	舞台メイク④	19	ビューティーショーメイク練習⑦
	5	舞台メイク⑤	20	ビューティーショーメイク練習⑧
	6	舞台メイク⑥	21	ビューティーショーメイク実践①
	7	ブライダルメイク①	22	ビューティーショーメイク実践②
	8	ブライダルメイク②	23	ビューティーショーメイク実践③
	9	ブライダルメイク③	24	ビューティーショーメイク実践④
	10	ブライダルメイク④	25	ビューティーショーメイク実践⑤
	11	ブライダルメイク⑤	26	ビューティーショーメイク実践⑥
	12	ブライダルメイク⑥	27	ビューティーショーメイクリハーサル①
	13	ビューティーショーメイク練習①	28	ビューティーショーメイクリハーサル②
	14	ビューティーショーメイク練習②	29	ビューティーショー当日準備①
	15	ビューティーショーメイク練習③	30	ビューティーショー当日準備②
成績評価方法 (試験実施方法)	29・30コマ目：作品の出来栄え、創意工夫などを総合評価する			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容					
授業科目	ベーシックエステティックⅠ					
実務家教員授業	○					
学部・学科	トータルビューティー学科					
履修年次	1年次					
開講学期	前期					
科目区分	必修					
授業方法	講義 演習 実習					
授業時間	90単位時間					
授業コマ数	45コマ					
授業概要	ファイナル、ボディに関する知識、技術の基礎を学ぶ					
授業の進め方	認定講師の指導を基に、実技を相モデル系形式にて実施する					
達成目標	正確な手順や強弱を覚え、基礎技術を習得する					
教科書	協会指定である新エステティック学					
特記	美容職経歴を持つ教員による実習					
授業計画	1	フェイシャル実技理論①	16	フェイシャル基礎実習⑪	31	フェイシャル実習 手技⑪
	2	フェイシャル実技理論②	17	フェイシャル基礎実習⑫	32	フェイシャル実習 手技⑫
	3	フェイシャル実技理論③	18	フェイシャル基礎実習⑬	33	フェイシャル実習 手技⑬
	4	フェイシャル実技理論④	19	フェイシャル基礎実習⑭	34	フェイシャル実習 手技⑭
	5	フェイシャル実技理論⑤	20	フェイシャル基礎実習⑮	35	フェイシャル実習 手技⑮
	6	フェイシャル基礎実習①	21	フェイシャル実習 手技①	36	ボディ実技理論①
	7	フェイシャル基礎実習②	22	フェイシャル実習 手技②	37	ボディ実技理論②
	8	フェイシャル基礎実習③	23	フェイシャル実習 手技③	38	ボディ実技理論③
	9	フェイシャル基礎実習④	24	フェイシャル実習 手技④	39	ボディ実技理論④
	10	フェイシャル基礎実習⑤	25	フェイシャル実習 手技⑤	40	ボディ実技理論⑤
	11	フェイシャル基礎実習⑥	26	フェイシャル実習 手技⑥	41	ボディ実習 手技 背面①
	12	フェイシャル基礎実習⑦	27	フェイシャル実習 手技⑦	42	ボディ実習 手技 背面②
	13	フェイシャル基礎実習⑧	28	フェイシャル実習 手技⑧	43	ボディ実習 手技 背面③
	14	フェイシャル基礎実習⑨	29	フェイシャル実習 手技⑨	44	ボディ実習 手技 背面④
	15	フェイシャル基礎実習⑩	30	フェイシャル実習 手技⑩	45	ボディ実習 手技 背面⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	29・30コマ目：作品の出来栄え、創意工夫などを総合評価する					
備考						

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	ベーシックエステティックⅡ			
実務家教員授業	○			
学部・学科	トータルビューティー学科			
履修年次	1年次			
開講学期	後期			
科目区分	必修			
授業方法	演習 実習			
授業時間	60単位時間			
授業コマ数	30コマ			
授業概要	ボディ、ワックス脱毛に関する知識、技術の基礎を学ぶ			
授業の進め方	認定講師の指導を基に、実技を相モデル系形式にて実施する			
達成目標	正確な手順や強弱を覚え、基礎技術を習得する			
教科書	協会指定である新エステティック学			
特記	美容職経歴を持つ教員による実習			
授業計画	1	ボディ実習 手技 背面⑥	16	ボディ実習 手技 前面⑥
	2	ボディ実習 手技 背面⑦	17	ボディ実習 手技 前面⑦
	3	ボディ実習 手技 背面⑧	18	ボディ実習 手技 前面⑧
	4	ボディ実習 手技 背面⑨	19	ボディ実習 手技 前面⑨
	5	ボディ実習 手技 背面⑩	20	ボディ実習 手技 前面⑩
	6	ボディ実習 手技 背面⑪	21	ボディ実習 手技 前面⑪
	7	ボディ実習 手技 背面⑫	22	ボディ実習 手技 前面⑫
	8	ボディ実習 手技 背面⑬	23	ボディ実習 手技 前面⑬
	9	ボディ実習 手技 背面⑭	24	ボディ実習 手技 前面⑭
	10	ボディ実習 手技 背面⑮	25	ボディ実習 手技 前面⑮
	11	ボディ実習 手技 前面①	26	美容脱毛理論①
	12	ボディ実習 手技 前面②	27	美容脱毛理論②
	13	ボディ実習 手技 前面③	28	ワックス脱毛実習①
	14	ボディ実習 手技 前面④	29	ワックス脱毛実習②
	15	ボディ実習 手技 前面⑤	30	ワックス脱毛実習③
成績評価方法 (試験実施方法)	10コマ目・25コマ目にボディ実技テストを実施する。			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容					
授業科目	ベーシックネイル I					
実務家教員授業	○					
学部・学科	トータルビューティー学科					
履修年次	1 年次					
開講学期	前期					
科目区分	必修					
授業方法	講義 演習 実習					
授業時間	9 0 単位時間					
授業コマ数	4 5 コマ					
授業概要	ネイル検定3級・2級の技術の習得					
授業の進め方	認定講師の指導を基に、相モデルでの実習を行い、技術の向上を図る					
達成目標	ネイリスト技能検定3級					
教科書	J N Aテクニカルシステム ベーシック					
特記	美容職経歴を持つ教員による実習					
授業計画	1	教材・テキスト配布	16	3級実技試験 通し練習⑥	31	2級チップ&ラップ⑤
	2	教材明記・テキスト説明①	17	3級実技試験 通し練習⑦	32	2級チップ&ラップ⑥
	3	テキスト説明② 手指消毒	18	3級実技試験 苦手分野練習①	33	2級カラーリング①
	4	テキスト説明③ オレンジウッドスティック作成	19	3級実技試験 苦手分野練習②	34	2級カラーリング②
	5	ファイル・カラーリング①	20	3級実技試験 苦手分野練習③	35	2級実技試験 後半通し①
	6	ファイル・カラーリング②	21	3級実技試験 苦手分野練習④	36	2級実技試験 後半通し②
	7	ネイルケア①	22	3級実技試験 通し練習・最終ケア①	37	2級実技試験 後半通し③
	8	ネイルケア②	23	3級実技試験 通し練習・最終ケア②	38	2級実技試験 後半通し④
	9	3級ネイルアート①	24	3級実技試験 通し練習・最終ケア③	39	2級実技試験 後半通し⑤
	10	3級ネイルアート②	25	3級実技試験前最終ケア①	40	2級実技試験 後半通し⑥
	11	3級実技試験 通し練習①	26	3級実技試験前最終ケア②	41	2級実技試験 前半通し①
	12	3級実技試験 通し練習②	27	2級チップ&ラップ①	42	2級実技試験 前半通し②
	13	3級実技試験 通し練習③	28	2級チップ&ラップ②	43	2級実技試験 通し練習①
	14	3級実技試験 通し練習④	29	2級チップ&ラップ③	44	2級実技試験 通し練習②
	15	3級実技試験 通し練習⑤	30	2級チップ&ラップ④	45	2級実技試験 通し練習③
成績評価方法 (試験実施方法)	23コマ・24コマ目に検定試験本番同様の実技試験を実施。					
備考						

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	ベーシックネイルⅡ			
実務家教員授業	○			
学部・学科	トータルビューティー学科			
履修年次	1 年次			
開講学期	後期			
科目区分	必修			
授業方法	演習 実習			
授業時間	6 0 単位時間			
授業コマ数	3 0 コマ			
授業概要	ネイル検定2級・1級の技術の習得			
授業の進め方	認定講師の指導を基に、相モデルでの実習を行い、技術の向上を図る			
達成目標	ネイリスト技能検定2級			
教科書	JNAテクニカルシステム ベーシック			
特記	美容職経歴を持つ教員による実習			
授業計画	1	2級実技試験 通し練習①	16	1級スカルプチュア・チップ&オーバーレイ④
	2	2級実技試験 通し練習②	17	1級スカルプチュア・チップ&オーバーレイ⑤
	3	2級実技試験前最終ケア①	18	1級スカルプチュア・チップ&オーバーレイ⑥
	4	2級実技試験前最終ケア②	19	1級ミックスメディアアート①
	5	1級スカルプチュア説明	20	1級ミックスメディアアート②
	6	1級チップ&オーバーレイ説明	21	1級技術試験 通し練習①
	7	1級 1ボール	22	1級技術試験 通し練習②
	8	1級 フォーム	23	1級技術試験 通し練習③
	9	1級スカルプチュア①	24	1級技術試験 通し練習④
	10	1級スカルプチュア②	25	1級技術試験 通し練習⑤
	11	1級チップ&オーバーレイ①	26	1級技術試験 通し練習⑥
	12	1級チップ&オーバーレイ②	27	1級技術試験 通し練習⑦
	13	1級スカルプチュア・チップ&オーバーレイ①	28	1級技術試験 通し練習⑧
	14	1級スカルプチュア・チップ&オーバーレイ②	29	1級技術試験前最終ケア①
	15	1級スカルプチュア・チップ&オーバーレイ③	30	1級技術試験前最終ケア②
成績評価方法 (試験実施方法)	3コマ・4コマ目に検定試験本番同様の実技試験を実施。			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	メイクアップ演習Ⅰ	
実務家教員授業		
学部・学科	トータルビューティー学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義 演習	
授業時間	60 単位時間	
授業コマ数	30 コマ	
授業概要	スキンケア・ベースメイクの技術の習得	
授業の進め方	相モデルでの実習を行い、技術の向上を図る	
達成目標	日本メイクアップ技術検定試験 3 級	
教科書	日本メイクアップ技術検定試験 公式テキスト	
特記		
授業計画	1 メイクキットの検品・道具の説明と手入れ 2 3 級試験概要説明・テーブルセッティングとモデルセッティング 3 スキンケア① 順序・スキンケア化粧品の目的と特徴 4 スキンケア② 化粧水・乳液の実践練習 5 スキンケア③ 顔の各名称・手順復習（化粧水・乳液） 6 スキンケア④ ポイントクレンジング・クレンジングの実践練習 7 スキンケア⑤ 通し練習 8 スキンケア⑥ 通し練習 9 スキンケア⑦ 実技確認テスト 10 スキンケア⑧ 実技確認テスト 11 ベースメイク① 順序・ベースメイク化粧品の目的と特徴 12 ベースメイク② メイクアップベース～ファンデーション～パウダー 実践練習 13 ベースメイク③ メイクアップベース～ファンデーション～パウダー 復習 14 ベースメイク④ メイクアップベース～ファンデーション～パウダー 復習 15 ベースメイク⑤ ベースメイクの質感・肌トラブル・コントロールカラー	16 ベースメイク⑥ コントロールカラー・コンシーラー 17 ベースメイク⑦ メイクアップベース～コントロールカラー～コンシーラー～パウダー 実践練習 18 ベースメイク⑧ メイクアップベース～コントロールカラー～コンシーラー～パウダー 実践練習 19 ベースメイク⑨ 通し練習 20 ベースメイク⑩ 通し練習 21 ベースメイク⑪ 実技確認テスト 22 トータルレッスン① スキンケア～ベースメイク 復習 23 トータルレッスン② スキンケア～ベースメイク 手順確認 24 トータルレッスン③ スキンケア～ベースメイク 手順確認 25 トータルレッスン④ スキンケア～ベースメイク 確認テスト 26 トータルレッスン⑤ スキンケア～ベースメイク 確認テスト 27 模擬試験① 28 模擬試験② 29 3 級実技試験前最終練習 30 3 級実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	3 級実技試験にて評価（80 点以上）	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	メイクアップ演習Ⅱ			
実務家教員授業				
学部・学科	トータルビューティー学科			
履修年次	1 年次			
開講学期	後期			
科目区分	必修			
授業方法	演習 実習			
授業時間	6 0 単位時間			
授業コマ数	3 0 コマ			
授業概要	スキンケア・ベースメイク・ポイントメイクの技術の習得			
授業の進め方	相モデルでの実習を行い、技術の向上を図る			
達成目標	日本メイクアップ技術検定試験 2 級			
教科書	日本メイクアップ技術検定試験 公式テキスト			
特記				
授業計画	1	2 級検定概要・ファンデーション ブラシテク	16	ポイントメイク 通し練習②
	2	ファンデーション ブラシテクニック②	17	フルメイク 通し練習①
	3	アイブロウの基礎知識	18	フルメイク 通し練習②
	4	アイブロウテクニック	19	顔分析
	5	アイカラーの基礎知識	20	顔分析・フルメイク
	6	アイカラーの実践・アイラインテクニック	21	錯覚とメイクアップ・色彩とメイクアップ
	7	ビューラー、マスカラの基礎知識	22	スキンケア・ベースメイク復習
	8	ビューラー、マスカラの実践	23	模擬試験①
	9	アイブロウ、アイメイク 通し練習①	24	模擬試験②
	10	アイブロウ、アイメイク 通し練習②	25	模擬試験③
	11	リップの基礎知識	26	模擬試験④
	12	リップの実践	27	模擬試験⑤
	13	ポイントメイク 復習①	28	模擬試験⑥
	14	ポイントメイク 復習②	29	2 級実技試験①
	15	ポイントメイク 通し練習①	30	2 級実技試験②
成績評価方法 (試験実施方法)	2 級実技試験にて評価（8 0 点以上）			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	エステティック概論	
実務家教員授業		
学部・学科	トータルビューティー学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	3 0 単位時間	
授業コマ数	1 5 コマ	
授業概要	エステティックの本質と現状を理解し知識を深める	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により知識の定着を図る	
達成目標	エステティックに関する基礎的な知識を習得する	
教科書	新エステティック学 理論編Ⅲ	
特記		
授業計画	1	エステティックの本質と領域 語源と歴史
	2	〃 領域
	3	エステティックの本質と領域 ソワンエステティック
	4	〃 五感美容
	5	美と健康 健康美
	6	〃 ウエルネス・アンチエイジング
	7	エステティシャンとしての心構え エステティシャンの資質
	8	〃 ホスピタリティーマインドの意義
	9	日本のエステティック 歴史と業界の現況
	10	〃 エステティック市場の現状と展望
	11	世界のエステティック 欧米における歴史と現状
	12	〃 アジアにおける歴史と現状
	13	〃 各国のエステティシャンの教育と資格
	14	問題演習
	15	習熟理解度テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	15コマ目実施 習熟理解度テスト (60点以上)	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	皮膚科学			
実務家教員授業				
学部・学科	トータルビューティー学科			
履修年次	1 年次			
開講学期	後期			
科目区分	必修			
授業方法	講義			
授業時間	60 単位時間			
授業コマ数	30 コマ			
授業概要	皮膚の働きとしくみを学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により知識の定着を図る			
達成目標	皮膚のしくみを理解し、美しく健康に保つためのスキンケア方法を身につける			
教科書	新エステティック学 理論編 I			
特記				
授業計画	1	皮膚の基本知識 生体における皮膚の役割・皮膚の構造と働き	16	色素沈着を起こした肌
	2	皮膚の構造と働き	17	ニキビ
	3	復習・問題演習	18	肌荒れと敏感
	4	美容上大切な皮膚の6つの働き 皮脂膜・角質層バリア	19	復習・問題演習
	5	表皮ターンオーバー・メラノサイト	20	肌と環境 肌と地域気候
	6	毛細血管・線維芽細胞	21	肌と気象の季節区分
	7	復習・問題演習	22	復習・問題演習
	8	肌の美しさを損ねる要因 紫外線	23	肌分析 目的・肌分析を行ううえで考慮すべきポイント
	9	寒気・乾燥・加齢	24	肌質チェック項目
	10	女性のリズム（月経・妊娠・更年期）	25	肌タイプ
	11	精神的ストレス・胃の不調	26	問題演習・解説
	12	生活習慣	27	問題演習・解説
	13	復習・問題演習	28	問題演習・解説
	14	さまざまな肌状態 肌意識の年代変化・美しい肌	29	問題演習・解説
	15	衰えた肌	30	習熟理解度テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	30コマ目実施 習熟理解度テスト（60点以上）			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	栄養学	
実務家教員授業		
学部・学科	トータルビューティー学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	3 0 単位時間	
授業コマ数	1 5 コマ	
授業概要	食物の栄養素と健康の関係の知識を深める	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により知識の定着を図る	
達成目標	栄養素と健康の関係を理解し、アドバイスができる知識を身につける	
教科書	新エステティック学 理論編Ⅱ	
特記		
授業計画	1	栄養学の基礎知識 栄養素の種類・5 大栄養素
	2	〃 5 大栄養素
	3	〃 栄養価・栄養所要量
	4	〃 食物摂取とその消化吸收
	5	〃 栄養学から見た食品
	6	〃 復習・問題演習
	7	健康と栄養 栄養状態の判定・肥満
	8	〃 中・老年期の栄養
	9	〃 美容と栄養
	10	〃 復習・問題演習
	11	サプリメント
	12	食品添加物
	13	問題演習・解説
	14	問題演習・解説
	15	習熟理解度テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	15コマ目実施 習熟理解度テスト (60点以上)	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	アロマテラピー基礎
実務家教員授業	
学部・学科	トータルビューティ学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	講義 演習
授業時間	30単位時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	アロマテラピーに関して実践的な知識を幅広く学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と演習により、知識の定着を図る
達成目標	アロマテラピーに関して基礎的な知識を身に着ける
教科書	アロマテラピー検定公式テキスト
特記	
授業計画	1 アロマテラピーの基本・精油 2 アロマテラピーの安全性 3 精油のプロフィール 4 実践① 基材・用具 5 実践② アロマスプレー作り 6 アロマテラピーのメカニズム 7 実践③ 沐浴法 8 ビューティ&ヘルスケア 9 実践④ 入浴剤作り 10 アロマテラピーの歴史 11 実践⑤ トリートメント法 12 問題演習① 13 問題演習② 14 問題演習③ 15 習熟理解度テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	15コマ目実施 習熟理解度テスト (60点以上)
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	色彩概論	
実務家教員授業		
学部・学科	トータルビューティー学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	3 0 単位時間	
授業コマ数	1 5 コマ	
授業概要	色彩に関する基本ルールを学び理解を深める	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	色彩に関する基本的な知識を身につける	
教科書	色彩検定公式テキスト	
特記		
授業計画	1	基本 ガイダンス 各分野における色彩の活用例 色彩とその効果

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	色彩応用		
実務家教員授業			
学部・学科	トータルビューティー学科		
履修年次	1 年次		
開講学期	前期		
科目区分	必修		
授業方法	講義		
授業時間	6 0 単位時間		
授業コマ数	3 0 コマ		
授業概要	色彩基礎の知識を活用し、色彩検定 3 級レベルの知識の定着を図る		
授業の進め方	問題演習とポイントを絞った復習により知識の定着を図る		
達成目標	色彩検定 3 級に合格できるレベルの知識を身に着ける		
教科書	色彩検定公式テキスト		
特記			
授業計画	1	項目別 色のはたらき・光と色・色の表示	16 検定直前対策
	2	項目別 色彩心理・色彩調和に関する問題演習	17 検定直前対策
	3	項目別 配色イメージ、ファッション、インテリア 問題演習	18 検定直前対策
	4	総合力問題演習①	19 集中復習 色彩調和
	5	総合力問題演習②	20 検定直前対策
	6	総合力問題演習③	21 検定直前対策
	7	集中復習 色の表示	22 検定直前対策
	8	検定直前対策	23 集中復習 眼
	9	検定直前対策	24 検定直前対策
	10	検定直前対策	25 検定直前対策
	11	集中復習 光と色	26 検定直前対策
	12	検定直前対策	27 集中復習 ファッション・インテリア
	13	検定直前対策	28 検定直前対策
	14	検定直前対策	29 検定直前対策
	15	集中復習 色彩心理	30 最終授業模擬テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	30 コマ目実施 最終授業模擬テストの正答率にて判定。		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	パーソナルカラー基礎			
実務家教員授業				
学部・学科	トータルビューティー学科			
履修年次	1 年次			
開講学期	後期			
科目区分	必修			
授業方法	講義 演習			
授業時間	60 単位時間			
授業コマ数	30 コマ			
授業概要	パーソナルカラーに関しての基本ルールを学び理解を深める			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	パーソナルカラー 3 級に合格できるレベルの知識を身に付け、パーソナルカラー診断のための基礎知識を習得する			
教科書	パーソナルカラー検定 3 級公式テキスト			
特記				
授業計画	1	ガイダンス パーソナルカラーとは・業界における活用方法など	16	第 3 章 色彩とファッション ファッション概論
	2	第 1 章 色彩と文化 四季・色と生活	17	第 3 章 色彩とファッション イメージ用語の基礎知識
	3	第 1 章 色彩と文化 日本の色の歴史①	18	第 3 章 色彩とファッション ブライダルと色彩
	4	第 1 章 色彩と文化 日本の色の歴史②	19	第 3 章 習熟理解度テスト
	5	第 1 章 色彩と文化 色の種類	20	第 4 章 パーソナルカラー 肌の色、皮膚の構造
	6	第 1 章 習熟理解度テスト	21	第 4 章 パーソナルカラー 髪色の科学、ヘアメイク
	7	第 2 章 色彩理論 色の仕組み 光・眼	22	第 4 章 パーソナルカラー 特徴、アンダートーン
	8	第 2 章 色彩理論 色の仕組み 無彩色・有彩色・三属性	23	第 4 章 パーソナルカラー パステルサマー
	9	第 2 章 色彩理論 CUS 表色系 色相・色調・アンダートーン	24	第 4 章 パーソナルカラー ブリリアントウィンター
	10	第 2 章 色彩理論 CUS 表色系 色相配色／色調配色	25	第 4 章 パーソナルカラー ブライトスプリング
	11	第 2 章 色彩理論 色の三属性と対比現象①	26	第 4 章 パーソナルカラー ディープオータム
	12	第 2 章 色彩理論 色の三属性と対比現象②	27	第 4 章 習熟理解度テスト
	13	第 2 章 色彩理論 色の感情効果	28	パーソナルカラー診断基礎知識①
	14	第 2 章 色彩理論 色の配色効果	29	パーソナルカラー診断基礎知識②
	15	第 2 章 習熟理解度テスト	30	最終授業模擬テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	習熟理解度テスト 80 点（1 回 20 点×4 回） 30 コマ目実施 最終授業模擬テスト 20 点			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	アドバンスメイクアップⅠ	
実務家教員授業	○	
学部・学科	トータルビューティー学科	
履修年次	2 年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	演習 実習	
授業時間	60 単位時間	
授業コマ数	30 コマ	
授業概要	実践的なメイク技術を学び作品制作を行う	
授業の進め方	美容師の指導を基に、作品制作を通して技術の向上を図る	
達成目標	イメージに合わせた作品が作れるようになる	
教科書	なし	
特記	美容職経歴を持つ教員による実習	
授業計画	1 テーマ別メイク練習① 2 テーマ別メイク練習② 3 テーマ別メイク練習③ 4 テーマ別メイク練習④ 5 テーマ別メイク練習⑤ 6 テーマ別メイク練習⑥ 7 テーマ別メイク実践① 8 テーマ別メイク実践② 9 テーマ別メイク実践③ 10 テーマ別メイク実践④ 11 テーマ別メイク実践⑤ 12 テーマ別メイク実践⑥ 13 フォトコンテスト用ウィッグ練習① 14 フォトコンテスト用ウィッグ練習② 15 フォトコンテスト用ウィッグ練習③	16 フォトコンテスト用ウィッグ練習④ 17 フォトコンテスト用ウィッグ練習⑤ 18 フォトコンテスト用ウィッグ練習⑥ 19 フォトコンテスト用ウィッグ実践① 20 フォトコンテスト用ウィッグ実践② 21 フォトコンテスト用ウィッグ実践③ 22 フォトコンテスト用ウィッグ実践④ 23 フォトコンテスト相モデル練習① 24 フォトコンテスト相モデル練習② 25 フォトコンテスト相モデル練習③ 26 フォトコンテスト相モデル練習④ 27 フォトコンテスト相モデル練習⑤ 28 フォトコンテスト相モデル練習⑥ 29 フォトコンテスト相モデル練習⑦ 30 フォトコンテスト相モデル練習⑧
成績評価方法 (試験実施方法)	21・22コマ目：作品の出来栄え、創意工夫などを総合評価する	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	アドバンスメイクアップⅡ	
実務家教員授業	○	
学部・学科	トータルビューティー学科	
履修年次	2 年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	演習 実習	
授業時間	60 単位時間	
授業コマ数	30 コマ	
授業概要	実践的なメイク技術を学び作品制作を行う	
授業の進め方	美容師の指導を基に、作品制作を通して技術の向上を図る	
達成目標	イメージに合わせた作品が作れるようになる	
教科書	なし	
特記	美容職経歴を持つ教員による実習	
授業計画	1 フォトコンテスト相モデル実践① 2 フォトコンテスト相モデル実践② 3 フォトコンテスト相モデル実践③ 4 フォトコンテスト相モデル実践④ 5 ビューティーショーメイク練習① 6 ビューティーショーメイク練習② 7 ビューティーショーメイク練習③ 8 ビューティーショーメイク練習④ 9 ビューティーショーメイク練習⑤ 10 ビューティーショーメイク練習⑥ 11 ビューティーショーメイク練習⑦ 12 ビューティーショーメイク練習⑧ 13 ビューティーショーメイク練習⑨ 14 ビューティーショーメイク練習⑩ 15 ビューティーショーメイク実践①	16 ビューティーショーメイク実践② 17 ビューティーショーメイク実践③ 18 ビューティーショーメイク実践④ 19 ビューティーショーメイク実践⑤ 20 ビューティーショーメイク実践⑥ 21 ビューティーショーメイク実践⑦ 22 ビューティーショーメイク実践⑧ 23 ビューティーショーメイク実践⑨ 24 ビューティーショーメイク実践⑩ 25 ビューティーショーメイク実践⑪ 26 ビューティーショーメイク実践⑫ 27 ビューティーショーメイク実践⑬ 28 ビューティーショーメイク実践⑭ 29 ビューティーショー当日準備① 30 ビューティーショー当日準備②
成績評価方法 (試験実施方法)	29・30コマ目：作品の出来栄え、創意工夫などを総合評価する	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容					
授業科目	アドバンスエステティックⅠ					
実務家教員授業	○					
学部・学科	トータルビューティー学科					
履修年次	2年次					
開講学期	前期					
科目区分	必修					
授業方法	演習 実習					
授業時間	90単位時間					
授業コマ数	45コマ					
授業概要	フェイシャル、ボディに関する知識、技術の習得					
授業の進め方	認定講師の指導を基に、実技を相モデル系形式にて実施する					
達成目標	認定エステティシャン実技試験に合格できるフェイシャル実技を習得する					
教科書	協会指定である新エステティック学					
特記	美容職経歴を持つ教員による実習					
授業計画	1	フェイシャル機器①	16	フェイシャルカルテリング⑥	31	フェイシャル実技試験対策①
	2	フェイシャル機器②	17	フェイシャルカルテリング⑦	32	フェイシャル実技試験対策②
	3	フェイシャル機器③	18	フェイシャルカルテリング⑧	33	フェイシャル実技試験対策③
	4	フェイシャル機器④	19	フェイシャルカルテリング⑨	34	フェイシャル実技試験対策④
	5	フェイシャル機器⑤	20	フェイシャルカルテリング⑩	35	フェイシャル実技試験対策 模擬試験
	6	フェイシャル機器⑥	21	フェイシャル実習 通し①	36	フェイシャル応用技術
	7	フェイシャル機器⑦	22	フェイシャル実習 通し②	37	ボディ 機器①
	8	フェイシャル機器⑧	23	フェイシャル実習 通し③	38	ボディ 機器②
	9	フェイシャル機器⑨	24	フェイシャル実習 通し④	39	ボディ 機器③
	10	フェイシャル機器⑩	25	フェイシャル実習 通し⑤	40	ボディ 機器④
	11	フェイシャルカルテリング①	26	フェイシャル実習 通し⑥	41	ボディ 機器⑤
	12	フェイシャルカルテリング②	27	フェイシャル実習 通し⑦	42	ボディ 機器⑥
	13	フェイシャルカルテリング③	28	フェイシャル実習 通し⑧	43	ボディ 機器⑦
	14	フェイシャルカルテリング④	29	フェイシャル実習 通し⑨	44	ボディ 機器⑧
	15	フェイシャルカルテリング⑤	30	フェイシャル実習 通し⑩	45	ボディ 機器⑨
成績評価方法 (試験実施方法)	35コマ目の模擬試験にて評価する。					
備考						

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	アドバンスエステティックⅡ	
実務家教員授業	○	
学部・学科	トータルビューティー学科	
履修年次	2 年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	演習 実習	
授業時間	60 単位時間	
授業コマ数	30 コマ	
授業概要	ボディ、ワックス脱毛に関する知識、技術の習得	
授業の進め方	認定講師の指導を基に、実技を相モデル系形式にて実施する	
達成目標	認定エステティシャン実技試験に合格できるボディ実技を習得する	
教科書	協会指定である新エステティック学	
特記	美容職経歴を持つ教員による実習	
授業計画	1 ボディ 機器⑩ 2 ボディカルテリング① 3 ボディカルテリング② 4 ボディカルテリング③ 5 ボディカルテリング④ 6 ボディカルテリング⑤ 7 ボディカルテリング⑥ 8 ボディカルテリング⑦ 9 ボディカルテリング⑧ 10 ボディカルテリング⑨ 11 ボディカルテリング⑩ 12 ボディ実習 通し① 13 ボディ実習 通し② 14 ボディ実習 通し③ 15 ボディ実習 通し④	16 ボディ実習 通し⑤ 17 ボディ実習 通し⑥ 18 ボディ実習 通し⑦ 19 ボディ実習 通し⑧ 20 ボディ実習 通し⑨ 21 ボディ実習 通し⑩ 22 ボディ実技試験対策① 23 ボディ実技試験対策② 24 ボディ実技試験対策③ 25 ボディ実技試験対策④ 26 ボディ実技試験対策 模擬試験 27 ボディ応用技術 28 ワックス脱毛実践① 29 ワックス脱毛実践② 30 ワックス脱毛試験
成績評価方法 (試験実施方法)	26コマ目の模擬試験・30コマ目のワックス脱毛試験にて評価する。	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	アドバンスネイル I			
実務家教員授業	○			
学部・学科	トータルビューティー学科			
履修年次	2 年次			
開講学期	前期			
科目区分	必修			
授業方法	演習 実習			
授業時間	6 0 単位時間			
授業コマ数	3 0 コマ			
授業概要	ジェルネイル検定初級・中級の技術の習得			
授業の進め方	認定講師の指導を基に、相モデルでの実習を行い、技術の向上を図る			
達成目標	ジェルネイル技能検定試験初級・中級			
教科書	なし			
特記	美容職経歴を持つ教員による実習			
授業計画	1	ジェルネイル検定初級について	16	中級 ジェルグラデーション①
	2	初級 ジェルカラーリング①	17	中級 ジェルグラデーション②
	3	初級 ジェルカラーリング②	18	中級 ジェルイクステンション①
	4	初級 ジェルカラーリング③	19	中級 ジェルイクステンション②
	5	初級 ジェルアート（ピーコック）	20	ジェルネイル中級試験 通し練習①
	6	ジェルネイル初級試験 通し練習①	21	ジェルネイル中級試験 通し練習②
	7	ジェルネイル初級試験 通し練習②	22	ジェルネイル中級試験 通し練習③
	8	ジェルネイル初級試験 通し練習③	23	ジェルネイル中級試験 通し練習④
	9	ジェルネイル技能検定試験初級①	24	ジェルネイル中級試験 苦手分野練習①
	10	ジェルネイル技能検定試験初級②	25	ジェルネイル中級試験 苦手分野練習②
	11	ジェルネイル検定中級について	26	ジェルネイル中級試験 通し練習⑤
	12	中級 ジェルフレンチカラーリング①	27	ジェルネイル中級試験 通し練習⑥
	13	中級 ジェルフレンチカラーリング②	28	ジェルネイル中級試験 通し練習⑦
	14	中級 ジェルフレンチカラーリング③	29	ジェルネイル中級試験 通し練習・最終ケア①
	15	中級 ジェルフレンチカラーリング④	30	ジェルネイル中級試験 通し練習・最終ケア②
成績評価方法 （試験実施方法）	9コマ・10コマ目に初級検定試験本番同様の実技試験を実施。 29コマ・30コマ目に中級検定試験本番同様の実技試験を実施。			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	アドバンスネイルⅡ	
実務家教員授業	○	
学部・学科	トータルビューティー学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	演習 実習	
授業時間	60単位時間	
授業コマ数	30コマ	
授業概要	ジェルネイル検定上級の技術の習得	
授業の進め方	認定講師の指導を基に、相モデルでの実習を行い、技術の向上を図る	
達成目標	ジェルネイル技能検定試験上級	
教科書	なし	
特記	美容職経歴を持つ教員による実習	
授業計画	1 ジェルネイル検定上級について 2 ジェルクリアスカルプチュア① 3 ジェルクリアスカルプチュア② 4 ジェルクリアスカルプチュア③ 5 ジェルチップオーバーレイ① 6 ジェルチップオーバーレイ② 7 フレンチルック① 8 フレンチルック② 9 フレンチルック③ 10 ジェルアート① 11 ジェルアート② 12 ジェルオーバーレイ・スカルプチュア① 13 ジェルオーバーレイ・スカルプチュア② 14 ジェルオーバーレイ・スカルプチュア③ 15 ジェルオーバーレイ・スカルプチュア④	16 ジェルオーバーレイ・スカルプチュア⑤ 17 ジェルネイル上級試験 通し練習① 18 ジェルネイル上級試験 通し練習② 19 ジェルネイル上級試験 通し練習③ 20 ジェルネイル上級試験 通し練習④ 21 ジェルネイル上級試験 苦手分野練習① 22 ジェルネイル上級試験 苦手分野練習② 23 ジェルネイル上級試験 通し練習・苦手分野練習① 24 ジェルネイル上級試験 通し練習・苦手分野練習② 25 ジェルネイル上級試験 通し練習・苦手分野練習③ 26 ジェルネイル上級試験 通し練習・苦手分野練習④ 27 ジェルネイル上級試験 通し練習・最終ケア① 28 ジェルネイル上級試験 通し練習・最終ケア② 29 ジェルネイル上級試験 通し練習・最終ケア③ 30 ジェルネイル上級試験 通し練習・最終ケア④
成績評価方法 (試験実施方法)	25コマ・26コマ目に上級検定試験本番同様の実技試験を実施。	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ヘアスタイリング
実務家教員授業	○
学部・学科	トータルビューティー学科
履修年次	2年次
開講学期	通年
科目区分	必修
授業方法	講義 演習 実習
授業時間	20単位時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	ウィッグを使ったり、相モデルでの実習形式で学ぶ
授業の進め方	美容師の指導を基に、基本の技術を身につけ、作品やショー用のヘアスタイリングで身につける
達成目標	基本的なヘアアレンジの技術を身につけ応用できるようになる
教科書	なし
特記	美容職経歴を持つ教員による実習
授業計画	1 ブラシ・コーム・スタイリング剤の使い方 2 平ゴム、樹脂ゴムの使い方 3 頭髮のブロッキング 4 編み込み（三つ編み、ツイスト、フィッシュボーン） 5 テーマに沿ったのアップスタイル① 6 テーマに沿ったのアップスタイル② 7 テーマに沿ったのアップスタイル③ 8 フォトコンテスト用ヘアアレンジ① 9 フォトコンテスト用ヘアアレンジ② 10 フォトコンテスト用ヘアアレンジ③
成績評価方法 (試験実施方法)	10コマ目：制作に対する取り組む姿勢、創意工夫などを総合的に評価する。
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容					
授業科目	ビューティープランニング					
実務家教員授業						
学部・学科	トータルビューティー学科					
履修年次	2 年次					
開講学期	後期					
科目区分	必修					
授業方法	演習					
授業時間	9 0 単位時間					
授業コマ数	4 5 コマ					
授業概要	テーマに合わせた作品制作や演出を行う					
授業の進め方	相モデルでの実習を行い、技術の向上を図る					
達成目標	ビューティーショーの成功					
教科書	なし					
特記						
授業計画	1	実施概要説明、過去の映像視聴	16	衣装・小物作成⑦	31	ウォーキング練習⑤
	2	クラステーマ設定	17	テーマに合わせた曲調べ	32	エンディング練習
	3	グループ分け、各テーマ設定	18	曲編集	33	通し練習①
	4	テーマに合わせたメイク・ヘア調べ①	19	ネイル作成①	34	通し練習②
	5	テーマに合わせたメイク・ヘア調べ②	20	ネイル作成②	35	通し練習③
	6	メイクデザイン画作成	21	ネイル作成③	36	通し練習④
	7	テーマに合わせたネイル調べ	22	ネイル作成④	37	通し練習⑤
	8	ネイルデザイン画作成	23	ネイル作成⑤	38	ヘアメイクリハーサル、写真撮影①
	9	テーマに合わせた衣装調べ	24	台本作成①	39	ヘアメイクリハーサル、写真撮影②
	10	衣装・小物作成①	25	台本作成②	40	リハーサル①
	11	衣装・小物作成②	26	台本作成③	41	リハーサル②
	12	衣装・小物作成③	27	ウォーキング練習①	42	最終準備①
	13	衣装・小物作成④	28	ウォーキング練習②	43	最終準備②
	14	衣装・小物作成⑤	29	ウォーキング練習③	44	最終準備③
	15	衣装・小物作成⑥	30	ウォーキング練習④	45	ビューティーショー
成績評価方法 (試験実施方法)	45コマ目：制作に対する取り組む姿勢、創意工夫などを総合的に評価する。					
備考						

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	生理解剖学
実務家教員授業	
学部・学科	トータルビューティー学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	30単位時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	人体のしくみ、構造と働きの基本を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により知識の定着を図る
達成目標	エステティック施術を正しく行うための知識を身につける
教科書	新エステティック学 理論編Ⅰ
特記	
授業計画	1 身体の基本 2 骨格系・筋系 3 神経系 4 復習・問題演習① 5 感覚 6 内分泌系 7 呼吸器系 8 復習・問題演習② 9 循環器系 10 消化器系 11 泌尿器系 12 生殖器系 13 復習・問題演習③ 14 問題演習 15 習熟理解度テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	15コマ目実施 習熟理解度テスト（60点以上）
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	応用美容理論
実務家教員授業	
学部・学科	トータルビューティー学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	30単位時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	エステティシャンセンター試験合格レベルの知識の定着を図る
授業の進め方	問題演習とポイントを絞った復習により知識の定着を図る
達成目標	エステティシャンセンター試験合格
教科書	新エステティック学
特記	
授業計画	1 問題演習① エステティック概論・心身生理学／生命活動とホメオスタシス 2 問題演習② 皮膚科学 3 問題演習③ 解剖生理学 4 問題演習④ 運動生理学・化粧品学 5 問題演習⑤ 栄養学 6 問題演習⑥ 電気機器学・関連法規／業界統一自主基準 7 問題演習⑦ 衛生消毒／衛生管理・サロンでの救急法 8 問題演習⑧ エステティックカウンセリング・サロンマネジメント／経営学 9 問題演習⑨ フェイシャル実技理論 10 問題演習⑩ ボディ実技理論 11 問題演習⑪ ワックス脱毛実技理論 12 総合問題演習① 13 総合問題演習② 14 総合問題演習③ 15 習熟理解度テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	15コマ目に習熟理解度テスト実施。（合格点70点以上）
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	着付実習	
実務家教員授業		
学部・学科	トータルビューティ学科	
履修年次	2年次	
開講学期	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義 実習	
授業時間	100単位時間	
授業コマ数	50コマ	
授業概要	きものの知識と実技を身に付ける	
授業の進め方	自装をマスター後、相モデルでの実習を行い、技術の向上を図る	
達成目標	二重太鼓の他装、振袖の飾り結びができるようになる。	
教科書	着物の教科書（全日本着物振興会）	
特記		
授業計画	1 着物の基本 和装小物の説明、ゆかた道具一式確認	31 袴 自装④ 二重太鼓
	2 着物の片付け・体型補正	32 実技試験 自装 二重太鼓
	3 浴衣 自装 文庫	33 実技試験振り返り講義
	4 着物の種類について 絹、紗	34 袴 他装① 二重太鼓
	5 浴衣 他装 花文庫①	35 袴 他装② 二重太鼓
	6 浴衣 他装 花文庫②	36 袴 他装③ 二重太鼓
	7 浴衣 自装・他装 蝶々①	37 袴 他装④ 二重太鼓
	8 浴衣 自装・他装 蝶々②	38 実技試験 他装 二重太鼓
	9 実技試験 ゆかた	39 実技試験振り返り講義
	10 実技試験振り返り講義	40 着物の応用 振袖 ふくら雀
	11 着物の作法	41 振袖 グループ ふくら雀①
	12 単衣 自装① 襦袢	42 振袖 グループ ふくら雀②
	13 単衣 自装② 太鼓	43 振袖 グループ ふくら雀③
	14 単衣 自装③ 太鼓	44 振袖 グループ ふくら雀④
	15 袴 自装① 太鼓	45 振袖 グループ 薔薇①
	16 袴 自装② 太鼓	46 振袖 グループ 薔薇②
	17 袴 自装③ 太鼓	47 振袖 グループ 薔薇③
	18 袴 自装④ 太鼓	48 振袖 グループ 薔薇④
	19 実技試験 自装 太鼓	49 総合テスト
	20 実技試験振り返り講義	50 総合テスト振り返り講義
	21 袴 他装① 太鼓	
	22 袴 他装② 太鼓	
	23 袴 他装③ 太鼓	
	24 袴 他装④ 太鼓	
	25 実技試験 他装 太鼓	
	26 実技試験振り返り講義	
	27 着物の応用 訪問着 二重太鼓	
	28 袴 自装① 二重太鼓	
	29 袴 自装② 二重太鼓	
	30 袴 自装③ 二重太鼓	
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験 50点（各10点×5回）、グループワーク 20点（各5点×4回） 総合テスト 30点	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	アロマテラピー応用
実務家教員授業	
学部・学科	トータルビューティー学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義 演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	アロマテラピーの基礎知識を活用し、アロマテラピー検定1級レベルの知識の定着を図る
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	アロマテラピー検定1級に合格できるレベルの知識を身に着ける
教科書	アロマテラピー検定公式テキスト アロマテラピー検定 公式問題集
特記	
授業計画	1 復習：精油について、安全性 2 復習：アロマテラピーのメカニズム、ヘルスケア 3 復習：歴史、法律 4 復習：精油のプロフィール① 5 復習：精油のプロフィール② 6 問題演習① 7 問題演習② 8 問題演習③ 9 習熟理解度テスト 10 問題演習④ 11 問題演習⑤ 12 問題演習⑥ 13 習熟理解度テスト 14 アロマテラピー検定 1級 模擬問題① 15 アロマテラピー検定 1級 模擬問題②
成績評価方法 (試験実施方法)	9, 13コマ目実施 習熟理解度テスト (60点以上)
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																														
授業科目	パーソナルカラー応用Ⅰ																														
実務家教員授業																															
学部・学科	トータルビューティー学科																														
履修年次	2年次																														
開講学期	前期																														
科目区分	必修																														
授業方法	講義 演習																														
授業時間	30単位時間																														
授業コマ数	15コマ																														
授業概要	パーソナルカラーの基礎知識を活用しパーソナルカラー2級レベルの知識の定着を図る																														
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る																														
達成目標	パーソナルカラー2級に合格できるレベルの知識を身に着ける。																														
教科書	パーソナルカラー検定2級公式テキスト																														
特記																															
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>第1章 色彩と文化 染料・染色と顔料</td></tr> <tr><td>2</td><td>第1章 色彩と文化 ヨーロッパの色の歴史</td></tr> <tr><td>3</td><td>第1章 習熟理解度テスト</td></tr> <tr><td>4</td><td>第2章 色彩理論 混色・照明と色</td></tr> <tr><td>5</td><td>第2章 色彩理論 色の知覚効果</td></tr> <tr><td>6</td><td>第2章 色彩理論 基本的な配色テクニック</td></tr> <tr><td>7</td><td>第2章 習熟理解度テスト</td></tr> <tr><td>8</td><td>第3章 CUS配色調和理論</td></tr> <tr><td>9</td><td>第3章 習熟理解度テスト</td></tr> <tr><td>10</td><td>第4章 色彩を活かすテクニック ファッション</td></tr> <tr><td>11</td><td>第4章 色彩を活かすテクニック ティスプレイ・インテリア</td></tr> <tr><td>12</td><td>第4章 習熟理解度テスト</td></tr> <tr><td>13</td><td>第5章 パーソナルカラー パーソナルカラーとスタイリング</td></tr> <tr><td>14</td><td>第5章 パーソナルカラー ブライダルと色彩</td></tr> <tr><td>15</td><td>第5章 習熟理解度テスト</td></tr> </table>	1	第1章 色彩と文化 染料・染色と顔料	2	第1章 色彩と文化 ヨーロッパの色の歴史	3	第1章 習熟理解度テスト	4	第2章 色彩理論 混色・照明と色	5	第2章 色彩理論 色の知覚効果	6	第2章 色彩理論 基本的な配色テクニック	7	第2章 習熟理解度テスト	8	第3章 CUS配色調和理論	9	第3章 習熟理解度テスト	10	第4章 色彩を活かすテクニック ファッション	11	第4章 色彩を活かすテクニック ティスプレイ・インテリア	12	第4章 習熟理解度テスト	13	第5章 パーソナルカラー パーソナルカラーとスタイリング	14	第5章 パーソナルカラー ブライダルと色彩	15	第5章 習熟理解度テスト
1	第1章 色彩と文化 染料・染色と顔料																														
2	第1章 色彩と文化 ヨーロッパの色の歴史																														
3	第1章 習熟理解度テスト																														
4	第2章 色彩理論 混色・照明と色																														
5	第2章 色彩理論 色の知覚効果																														
6	第2章 色彩理論 基本的な配色テクニック																														
7	第2章 習熟理解度テスト																														
8	第3章 CUS配色調和理論																														
9	第3章 習熟理解度テスト																														
10	第4章 色彩を活かすテクニック ファッション																														
11	第4章 色彩を活かすテクニック ティスプレイ・インテリア																														
12	第4章 習熟理解度テスト																														
13	第5章 パーソナルカラー パーソナルカラーとスタイリング																														
14	第5章 パーソナルカラー ブライダルと色彩																														
15	第5章 習熟理解度テスト																														
成績評価方法 (試験実施方法)	各セクションにおける習熟理解度テスト 100点（各20点×5回）																														
備考																															

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	パーソナルカラー応用Ⅱ		
実務家教員授業			
学部・学科	トータルビューティー学科		
履修年次	2年次		
開講学期	後期		
科目区分	必修		
授業方法	演習		
授業時間	30単位時間		
授業コマ数	15コマ		
授業概要	パーソナルカラーの基礎知識を活用しパーソナルカラー2級レベルの知識の定着を図る		
授業の進め方	問題演習とポイントを絞った復習により知識の定着を図る		
達成目標	パーソナルカラー2級に合格できるレベルの知識を身に付け、パーソナルカラー診断ができるようになる		
教科書	パーソナルカラー検定2級公式テキスト		
特記			
授業計画	1	項目別	パーソナルカラースタイリング、イメージ
	2	項目別	CUS、配色問題
	3	項目別	ヨーロッパの歴史、染料・顔料
	4	項目別	ファッション、インテリア
	5	項目別	色の知覚効果、混色、照明
	6	検定直前対策①	
	7	検定直前対策②	
	8	検定直前対策③	
	9	検定直前対策④	
	10	検定直前対策⑤	
	11	模擬テスト	
	12	演習	パーソナルカラー診断①
	13	演習	パーソナルカラー診断②
	14	演習	パーソナルカラー診断③
	15	パーソナルカラー診断テスト	
成績評価方法 (試験実施方法)	検定直前問題	50点（1回10点×5回）	
	模擬テスト	20点	
	15コマ目実施	パーソナルカラー診断テスト	30点
備考			

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	秘書検定総合
実務家教員	
学部・学科	トータルビューティー学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	30単位時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	秘書としての考え方、職務知識、マナー・接遇について体系的に学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	秘書検定に合格できるレベルの理論・実技の知識を身に付ける
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 社会人に必要な自覚と心構え、秘書に求められる人柄 2 秘書に求められる能力 3 秘書の役割・機能、職務内容 4 一般知識 5 報告・説明の仕方 6 敬語の用法 7 電話対応① 8 電話対応② 9 来客対応① 10 来客対応② 11 社内文章・社外文章① 12 社内文章・社外文章② 13 メール・郵便・書類整理の知識① 14 メール・郵便・書類整理の知識② 15 出張の注意点・オフィスの環境作り
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	言語知識（韓国語）Ⅰ
実務家教員授業	
学部・学科	トータルビューティー学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	30単位時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	韓国人ネイティブ講師による講義
授業の進め方	テキスト講義と実戦的な演習により「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	1. 読み書きができる。 2. 以下の簡単な会話ができる ①挨拶&自己紹介 ②買い物でのやりとり ③店での注文 ④道などを尋ねる
教科書	外販教材・問題集
特記	
授業計画	1 オリエンテーション；韓国語に関する豆知識 基本母音 2 基本子音①説明&子音「K」 復習と会話 3 小テスト 基本子音②－「N」&「T」&「R」 基本子音③－「M」&「P」&「S」 4 復習と会話 基本子音④－「J」&「H」＋まとめ 5 小テスト 激音①－「Ch」&「Kh」 復習と会話 6 激音②－「Th」&「Ph」＋まとめ 濃音①－「KK」&「TT」&「PP」 7 小テスト 復習と会話 濃音②－「SS」&「JJ」＋まとめ 8 パッチム①〔P20の説明、P23N〕 復習と会話 9 小テスト パッチム②〔P20K、P21B〕 パッチム③〔P22M、P21NG〕 10 復習と会話 パッチム④〔P23L、P22T〕＋まとめ 11 小テスト 合成母音①〔P25&26の説明〕 復習と会話 12 合成母音②〔P27、28〕 〈1課〉私は日本人です。 13 小テスト 宿題チェック 〈1課〉私は日本人です。 14 まとめ 〈1課〉宿題チェック／総復習 15 最終到達度確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	最終到達度確認テストで70％以上のスコアを取得する。
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	言語知識（中国語）Ⅰ
実務家教員授業	
学部・学科	トータルビューティー学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義および演習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	30単位時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	中国人ネイティブ講師による講義
授業の進め方	テキスト講義と実戦的な演習により「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	学習者の中国語への興味を深める上、中国や中国語についての知識を広げ、今後本格的な中国語学習のきっかけを作る。
教科書	実用中国語10課（白帝社）
特記	実践経験者による講義
授業計画	- 中国語発音の基礎(1) 四つの声調・六つの基本母音・複合母音 - 中国語発音の基礎(2) 21の子音・鼻音・声調変化 - 中国語発音の基礎(3) 声調と変調・r化現象・発音のおさらい - 簡単な日常挨拶(1) 人称代名詞・単数と複数・基本的語順・疑問語「吗」について - 簡単な日常挨拶(2) 基本的語順（是or動詞を述語とする場合）・丁寧語について - 数字を覚えよう 年、月、日、曜日の言い方・所属を表す「的」・疑問視「什么」 数字の活用 - こんな時「是」は省略される・金額の言い方・否定を表す「不」 時刻と時間の長さの言い方・副詞「也」・疑問詞「怎么样」 - 人称代名詞・単数と複数・基本的語順・疑問語「吗」について - 存在・所有の表現 動詞「有」・否定「没有」・「什么」+名詞 - 買い物をする／値段を聞く&値段交渉する 人民元の数え方・能願動詞「要」「能」「会」「可以」・語気助詞「了」 - 乗り換えと両替 「必要・なければならない」を表す「要」・完了を表す「了」・動詞重ね型「看々」 - 電話をする→「是～的」の構文・結果補語 約束する→ある経験を表す文型「動詞+过～」・まだ～していない「还没(有)～」 - 確認する→もうすぐ～「要～了」・前置詞「从」「离」・選択疑問文「～、还是～」 - お客さんの出迎え&歓迎会 連体修飾語としての動詞、動詞構造、主述構造・程度補語「得」 - 別れを告げる&総復習 仮説を表す「～的话」,「要是～就～」・これまで習ってきた内容を総復習する
成績評価方法 (試験実施方法)	最終到達度確認テストで70%以上のスコアを取得する。
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	テクニカルメイク
実務家教員授業	
学部・学科	トータルビューティー学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義 演習 実習
授業時間	40単位時間
授業コマ数	20コマ
授業概要	上級のメイクアップの知識と技術の習得
授業の進め方	美容師の指導を基に、相モデルでの実習を行い、技術の向上を図る
達成目標	上級のメイクアップ技術を身につける
教科書	なし
特記	
授業計画	1 カバーメイク① 2 カバーメイク② 3 カバーメイク③ 4 カバーメイク④ 5 特殊メイク① 6 特殊メイク② 7 特殊メイク③ 8 特殊メイク④ 9 傷メイク① 10 傷メイク② 11 傷メイク③ 12 傷メイク④ 13 イメージメイク① 14 イメージメイク② 15 イメージメイク③ 16 イメージメイク④ 17 イメージメイク⑤ 18 イメージメイク⑥ 19 イメージメイク⑦ 20 イメージメイク⑧
成績評価方法 (試験実施方法)	各セッションでの出来栄え評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	テクニカルネイル
実務家教員授業	
学部・学科	トータルビューティー学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義 演習 実習
授業時間	40単位時間
授業コマ数	20コマ
授業概要	サロンワークで通用する技術を習得し実践する
授業の進め方	認定講師の指導を基に、相モデルでの実習とサロンワークで技術の向上を図る
達成目標	ネイリスト技能検定1級、ジェルネイル検定上級取得
教科書	なし
特記	
授業計画	1 ネイリスト技能検定1級実践① 2 ネイリスト技能検定1級実践② 3 ネイリスト技能検定1級実践③ 4 ネイリスト技能検定1級実践④ 5 ネイリスト技能検定1級模擬試験① 6 ネイリスト技能検定1級模擬試験② 7 ジェルネイル検定上級実践① 8 ジェルネイル検定上級実践② 9 ジェルネイル検定上級実践③ 10 ジェルネイル検定上級実践④ 11 ジェルネイル検定上級模擬試験① 12 ジェルネイル検定上級模擬試験② 13 サロンワーク前実習① 14 サロンワーク前実習② 15 サロンワーク実習① 16 サロンワーク実習② 17 サロンワーク実習③ 18 サロンワーク実習④ 19 サロンワーク実習⑤ 20 サロンワーク実習⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験での得点・サロンワークでの取組みを総合的に評価する。
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	トータルエステティック
実務家教員授業	
学部・学科	トータルビューティー学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義 演習 実習
授業時間	40単位時間
授業コマ数	20コマ
授業概要	より高度なエステティック技術の習得。認定エステティシャン試験合格を目指す。
授業の進め方	認定講師の指導を基に、相モデルでの実習を行い、技術の向上を図る
達成目標	認定エステティシャン取得
教科書	新エステティック学 技術編Ⅰ
特記	
授業計画	1 フェイシャル カウンセリング（ウッドランプ）、ディーブクレンジング① 2 フェイシャル カウンセリング（ウッドランプ）、ディーブクレンジング② 3 フェイシャル カウンセリング（ウッドランプ）、ディーブクレンジング③ 4 フェイシャル 機器（イオントフォレーゼ、パター）① 5 フェイシャル 機器（イオントフォレーゼ、パター）② 6 フェイシャル 機器（イオントフォレーゼ、パター）③ 7 ボディ復習、カウンセリング① 8 ボディ復習、カウンセリング② 9 ボディ復習、カウンセリング③ 10 ボディ 機器（低周波、パイプレーター）① 11 ボディ 機器（低周波、パイプレーター）② 12 ボディ 機器（低周波、パイプレーター）③ 13 ボディ 機器（低周波、パイプレーター）④ 14 ワックス脱毛① 15 ワックス脱毛② 16 ワックス脱毛③ 17 サロンワーク実習① 18 サロンワーク実習② 19 サロンワーク実習③ 20 サロンワーク実習④
成績評価方法 (試験実施方法)	各セッションで実技試験（70点以上）
備考	